

平成 20 年 2 月 14 日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社

代表取締役社長 山口浩行

(コード番号：3390)

問合せ先 経営企画部長 村上孝徳

電話番号 03-3568-1305

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 22 日付当社「平成 20 年 3 月期 中間決算短信 (非連結)」にて発表いたしました平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 業績予想の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3,186	87	80	77
今回修正 (B)	2,297	△443	△451	△457
増減額 (B-A)	△888	△530	△532	△534
増 減 率	△27.8%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	2,512	△316	△327	△363

2. 修正理由

当事業年度中間期までのマイナス基調から脱却すべく主力のソリューションアウトソーシング事業の新規顧客獲得、新事業分野である介護ソリューション事業の拡大、セキュリティ関連事業の基盤構築、既存の e コマース事業の新商材・新サービスの投入による売上拡大に努力してまいりました。その結果、第 1 四半期、第 2 四半期、第 3 四半期と売上は伸張してまいりましたが、その増加は微増にとどまり昨年度の実績に及びませんでした。

基幹事業のソリューションアウトソーシング事業においては、日本 IBM とのタイアップのもと新世代 POS 「APOS」を発表するなど、新施策による顧客開拓に尽力して参りましたが、売上獲得は計画通りに進捗いたしませんでした。

新規事業分野である介護ソリューション事業は業界でも類を見ない新たなソリューションを提供しておりますが、販売体制の構築が遅れており当初予想の売上を達成するにいたりませんでした。

た。しかしながら着実に業界の理解を獲得しており、その顧客数は急速に増加しております。

また、セキュリティ関連事業に関しましては、セグメント別ニーズの発掘活動を通じて当社セキュリティソリューションの有効活用につながる複数の案件が発生しておりますが、現時点では大きく売上に貢献する水準には至っておりません。

以上の理由により通期業績予想を修正することといたしました。

今後につきましては、資本・業務提携による販路開拓等を早期かつ積極的に推進し業績回復に努めて参ります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在における経済動向や市場環境をはじめとした情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上